

平成28年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート

提案者名：NPO法人小林住みよいまちづくり会

提案事業名：道作古墳群歴史広場の維持管理事業

関連課等名：生涯学習課

班等名：文化班

担当者名：鈴木圭一

内線等：545

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1) 市民ニーズについて

- ① 市民ニーズはある
2 ある程度の市民ニーズはある
3 どちらかとも言えない
4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

市内の重要な遺跡や史跡、有形無形の文化財を後世に継承していくため、指定された史跡などを広く市民に公開し、市の歴史に対して関心を持ちたいという市民ニーズがあると認識している。

(2) 市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

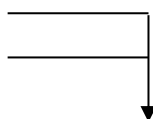
- ① 整合性がある
2 整合性がない
3 どちらともいえない

(具体的理由)

文化財の活用事業の実施目的及び概要と整合性が図れている。

(3) 法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
2 部分的に問題あり
③ 特に問題なし

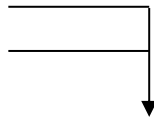


(具体的理由)

文化財の活用事業の実施目的及び概要と整合性が図れている。

(4) 既に実施、または類似の事業等について

- ① 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)
道作古墳群歴史広場の維持管理事業

(5) 実施効果について

- ① 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかというと効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

常時、道作古墳群の歴史広場を維持管理することで、市民が気軽に見学し憩いの場所となり、市の歴史や文化財について、関心が高まるという効果がある。

(6) 実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

団体としての活動実績もあり、活用拠点が主に小林地区を中心であることから、実現性・実行性は高いと考えられ、草刈りなどの回数なども具体的である。

(7) 市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- ② 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

市の事業として、妥当性は認められる。

(8) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

歳入、歳出ともとくに問題がないと考えている。

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

提案書については市の施策や方向性に概ね合致するので、とくに問題はありませんが、事業内容が、あまりイベント重視にならないように団体に働きかけていきたい。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというとな取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

事業の目的や内容については、生涯学習課が実施する事業と同様であり、目的を達成するために協働して取り組んでいきたい。

